

理学療法学科 キャリア教育・実践的職業教育

<理学療法教育の取り組み状況>

基礎分野、専門基礎分野、専門分野および臨床実習の教育内容の充実を目指したカリキュラム(112 単位、3,135 時間)を編成しました。

<キャリア教育への取り組み状況>

臨床現場における経験を重視した教育方針のもと、理学療法士に必要な資質、知識および技術を修得する実習に取り組み、臨床現場における理学療法士の業務内容と役割を理解するだけでなく、障がいに関する理解を深めることを目的としています。1 年次より 1 単位(45 時間)の見学実習を取り入れ、2 年次の 4 単位(180 時間)の評価実習、3 年次の 14 単位(630 時間)の総合臨床実習と段階的な実習を構築するだけでなく、通所リハビリテーションや訪問リハビリテーションなどの介護保険下における理学療法を理解するための実習を 1 単位(45 時間)取り入れ、幅広い分野で活躍できる人材育成を目指しています。また、最終学年では、他学科の学生と共同して、多職種連携教育の取り組みを実施しています。

<実習、実技への取り組み状況>

2 年次に、少人数制のグループ学習を通して、臨床実習に必要な知識や技術について再確認する機会を設けています。また、評価実習と臨床総合実習の前後で、客観的臨床能力試験(OSCE)を実施することで臨床能力の到達度を確認し、必要に応じて学習課題の設定を行っています。また、動画資料を作成し、検査・測定技術の自学自習システムを構築しています。

<就職支援への取り組み状況>

卒業年度の学生に対して、就職説明会を実施しています。就職相談では、学生一人ひとりの希望を聴取し、求人票の閲覧や施設見学を通して、就職先を決定しています。就職試験を受験するにあたり、面接、履歴書や作文等の文書作成等を指導し、学生本人の希望が叶うように全力で支援しています。

<資格取得への取り組み状況>

幅広い知識を求められる国家試験対策学習は、関連分野ごとに学習することで、学んできた知識を関連づけられるような取り組みを実施しています。また、多くの養成校が導入している模擬試験を本校でも導入し、学習到達度を把握しながら、その結果を踏まえて学習指導に活かしています。さらに、国家試験問題に慣れることや自学実習を定着させることを目的として、1 年次より国家試験対策アプリケーションを導入しています。国家試験対策学習でも、少人数制のグループ学習を取り入れ、そこに教員を配置して学習進捗状況を把握し、助言や指導を行うことで、確実に実力をつけて、国家試験合格を全員で目指しています。